

参考資料

■チーム ノボ ノルディスクについて

チーム ノボ ノルディスクは、世界初の糖尿病患者さんだけのプロサイクリングチームをはじめ、全員が糖尿病を持つサイクリスト、トライアスリートやマラソンランナーなど 100 人以上から構成されています。チームの設立者で CEO のフィル サザーランド氏は、糖尿病をコントロールしながら自転車のレースに挑戦することで同じ 1 型糖尿病とともに生きる人々を勇気づけられると思いチームを創設しました。

プロサイクリングチームのこれまでの成績（詳細はこちらをご覧ください。<http://www.club-dm.jp/tnn/>）

2013 年

- 20 以上のレースでトップ 10 入賞、3 つのレースで表彰台に
- 世界中にファンを広げ、facebook での『いいね！』は 90 万に

2014 年

- 8 月までに 16 のレースでトップ 10 入賞
- 後半はアメリカ、ヨーロッパ、アジア各国でレース予定

■Changing Diabetes®(糖尿病を克服する)について

ノボ ノルディスク社のミッションである、Changing Diabetes®(糖尿病を克服する)は、患者さんのより良い生活の質を目指すものです。

日本での Changing Diabetes®の主な活動としては、2012 年に実施された糖尿病の社会的心理的側面に焦点をあてた DAWN2™ 調査の結果を踏まえ、糖尿病患者さんの QOL を評価し、糖尿病と共に生きる人々の生活を豊かにする活動を行っています。

具体的には、患者さんの QOL を簡単に評価できる iPad アプリ「DTR-QOL」の提供、日本糖尿病協会や医療機関などの協力を得て 1992 年より毎年全国約 50 カ所で開催している「歩いて学ぶ糖尿病ウォークラリー」、レシピや自己管理をサポートするコンテンツを紹介した「糖尿病サイト(<http://www.club-dm.jp/>)」の配信などです。

■1 型糖尿病について

1 型糖尿病には、自己免疫反応の異常やウイルス感染により、すい臓の β 細胞を自分で攻撃してしまい、インスリンを出す機能を壊してしまうタイプ(自己免疫性)と原因不明のタイプ(特発性)の 2 つがあります。

いずれのタイプでも患者さんのすい臓は、自分でインスリンをだす力がなくなってしまいます。そのため、治療にはインスリン療法が必要です。

特徴としては、10~20 代の若い人に突然発病するケースが多いですが、高齢者でも 1 型糖尿病として糖尿病を発症することがあります。

日本では、2 型糖尿病に比べ非常に発症率が低いのが特徴で、1 年間に 10 万人の中で約 1.5~2.5 人ほど、1 型糖尿病を発症するひとが存在すると言われてしています。^{※1} 最も高い国はフィンランドで、1 年間に 10 万人の中で約 40 人ほど、1 型糖尿病を発症するひとが存在すると報告されています。^{※2}

最近では、遺伝子のなかである特徴をもつ遺伝子と 1 型糖尿病との関連が認められており、1 型糖尿病の発症メカニズムの解明が期待されています。

※1 Kida K, et al: Incidence of type 1 diabetes mellitus in children aged 0-14 in Japan, 1986-1990, including an analysis for seasonality of onset and month of birth: JDS study. Diabet Med 17:59-63,(2000)

※2 The DIAMOND Project Group: Incidence and trends of childhood Type 1 diabetes worldwide 1990-1999. Diabet Med 23: 857-866,(2006)

出典:糖尿病サイト糖尿病を知ろう <http://www.club-dm.jp/>

■インスリン療法について

1 型糖尿病の患者さんでは、長期にわたり良好な血糖コントロールを続けるために、頻回にインスリンを注射する強化インスリン療法を行います。具体的には強化インスリン療法では、基礎インスリンを補充するために、作用時間の長いインスリンを 1 日 1-2 回、朝や夜寝る前などに打ちます。そして、食後の急激な血糖値の上昇を抑えるために、超速効型や速効型のインスリンを、1 日 3 回、食事の前に打ちます。 出典:糖尿病サイト ノボケア Smile <http://www.club-dm.jp/>